

アンデスの風

ボゴタ日本人学校だよりNo. 339
(平成28年度 第3号)

平成28(2016)年12月16日



ASOCIACION CULTURAL JAPONESA
Cra.8H No. 170-35 BOGOTA COLOMBIA
Tel+571-670-5130 Fax+571-672-7509
E-mail : bogota_a_c_j@yahoo.co.jp
URL : <http://www.bogota.acj.com>

校長 平野 恵彦
2016.12.16

12月7日

天皇誕生日レセプションが大使公邸で行われ、子ども達は和太鼓演奏の機会をいただきました。

今年で4回目の演奏となります。コロンビアのお客様や日本人関係者の皆様の前で「アンデス太鼓」と「侍魂」の2曲を立派に演奏できたことは、また一つ大きな自信につながったものと思います。



大使公邸のお庭での和太鼓演奏

4月から40周年記念行事としてたくさんの「お祝いの会」をいただきましたこと感謝申し上げます。ありがとうございました。

昼休み、校庭を眺めていました……。チャイムで5時間目の準備です。

あちらこちらから子ども達が教室にもどっていきます。全部で24名です。(12月1日から小学部1年に編入生1名) 昨年は、全校児童生徒が14名であったときもあり、とても賑やかな校庭の風景になりました。

小学部の小さな子ども達から目を離さぬ先生達や中学部の生徒を見ると本当に家庭的な学校だなとあらためて思います。大きな子どもや先生達は、小さな子の手を離さず教室にもどります。

「手を離さず、目を離さず」小学部から中学部まで仲よく生活する風景はいつもとかわりません。



先日の駅伝大会(12月3日)の後、個人面談がありました。

中学部は、そろそろ将来を見据えた進路指導(学校調べや三者面談等)をしていかなければなりません。

日本人学校では、帰国し受験をする子ども達や現地の学校に進学する子ども達の進路相談を適宜行っています。

子どもの成長ははやいものです。いつの間にか身体ばかり

りではなく、心はもっと大きく膨らんでいきます。私たちは、子ども達の間には見えない成長をいつも見守っていく必要があります。

「幼子であったころ、肌を離さぬ日々」が十分にあってこそ、今、スクスクと子ども達は伸びやかに成長しているのだと思います。

子どもから肌が離れ、手が離れ、目が離れたときこそ、「心を離さぬ」ことが大切になってきます。進路相談では、日頃の子どもと先生との結びつきが大切です。ですから、日本人学校では多くの行事を持ち、少人数指導に重点をおいた、心を離さない学校生活を営めるよう努めたいと考えています。

「創立40周年記念事業」の財政援助として、海外子女教育財団から214,000円をいただいたことをご報告申し上げます。

また、40周年記念事業の募金総額は、105,314,371コロンビアペソとなりました。多くの方々からのご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

これらの支援金の一部から大太鼓を購入させていただきました。(12月7日の和太鼓演奏でご披露いたしました。)

来週から2月5日のきさらぎ祭に向けて、朝の和太鼓練習が始まります。毎朝、子ども達の太鼓の音が体育館に鳴り響きます。